

# 地域住民による自主的な森林管理の推進や防災意識の向上に繋がった事例

事業名：特認事業（里山防災林整備事業）

市町名：広島市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・土砂災害から市民の生命・財産を守り、安心・安全な暮らしを実現するためには、森林が持つ公益的機能の向上による山腹斜面の安定化が必要である。
- ・地域の森林の現状を森林所有者や地域住民自らが把握し、災害の危険性を事前に確認するなど、地域ぐるみによる自主的な防災・減災への取組が不可欠である。

## 取組の内容

- ・事業主体：伴中央町内会
- ・実施場所：安佐南区沼田町伴
- ・実施量：里山林整備 0.71ha  
巡視路の開設等 116m
- ・補助額：1,075千円
- ・実施期間：令和元年12月25日  
～令和2年3月25日



## 取組団体からの意見

- ・巡視路を設置したことにより、住民が山に入る機会が増え、森林への関心が高まった。
- ・うっそうとした里山林を整備したことにより、景観が良くなった。

## 団体の取組実績・効果

- ・土砂災害の恐れのある区域において、林内の下層植生の回復や樹木の健全な成長を促すために行う里山林の整備により、防災・減災の機能を向上させた。
- ・災害に強い森林を整備するとともに、地域住民が森林の状況を把握できるよう、森林を巡視するための道を整備することにより、地域住民による自主的な森林管理の推進や防災意識の向上が図られた。



# 龍頭山の森林保全整備活動事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：北広島町

## 取組のきっかけ・経緯

・北広島町を代表する山である龍頭山には、登山や自然観察を目的とし、多くの来訪者がいる。しかし近年、山頂付近・登山道周辺の樹木が生い茂り眺望の妨げとなることや、山頂の東屋や標識の損傷が激しいことから、これらを整備し、保全するため。

## 今後の展開

・継続2年目の令和2年度は、昨年度からの山頂付近の間伐整備を完了させ、山頂の東屋を更新し、最終年では、山頂の木製品・標識の整備、遊歩道の整備をし、自然体験活動を実施予定である。

## 取組の内容

- ・事業主体：龍頭山森の案内人の会
- ・実施場所：北広島町都志見 龍頭山
- ・実施量：森林整備 0.77ha  
施設整備（登山道階段補修等）  
森林保全活動 1回  
森林体験活動 2回
- ・事業金額：2,006千円
- ・事業期間：令和元年5月25日  
～令和2年3月31日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・山頂付近の森林間伐整備を実施したことで「見晴らしが良くなり気持ちが良い」「山頂に向けての登山道を歩きやすくなった」などの声があった。
- ・木製階段の補修により、安全性が増し、登山客の怪我の防止につながった。
- ・地域住民による保全活動としての草刈り・体験活動としての自然観察会を開催したことで、地域として、龍頭山を守っていく機運が高まったと感じられた。



# 地域のシンボルである固屋城跡を地域住民の手で整備する事例

事業名：特認事業（地域資源保全活用事業）

市町名：神石高原町

## 取組のきっかけ・経緯

・小畠地域一帯が眺望できる城跡で公園も整備され山頂付近には三社神社の拝殿があり、地域の歴史・文化はもとより守護の山として親しまれている。しかし近年、松枯れが進み遊歩道への倒木や山林の荒廃により土石流の危険性も高まっていた。加えて公園に整備された水道はポンプ故障により未送水となり、トイレ等も倒木により屋根が破損し、屋根裏の腐食が進み修復が急がれていた。地域のシンボルである固屋城山林の一体的整備が強く望まれていた。

## 取組の内容

- ・事業主体：固屋城跡プロジェクト実行委員会
- ・実施場所：神石高原町小畠
- ・業務委託先：神石郡森林組合
- ・業務量：施業面積2.20ha  
作業道整備 607m
- ・業務金額：10,120千円
- ・業務期間：令和元年9月1日～令和2年2月28日



## 今後の展開

・森林整備0.6ha、森林保全活動2回、森林・林業体験活動2回、簡易休憩施設の整備、ベンチ・巣箱等の整備を予定している。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・森林整備により、固屋城の稜線が遠くからはっきり見えるようになった。
- ・児童30人が参加し、樹木名札を取り付けたり、植林体験等を通して地域に愛着を持ち、山の魅力を感じることができた。
- ・作業道が新設され、頂上付近まで軽トラックで荷物が運べるようになった。



# 森林保全ボランティアと企業との連携による取組の事例

事業名：里山保全活用支援事業

市町名：府中町

## 取組のきっかけ・経緯

- ・マツダ(株)より水分峡森林公園での地域貢献活動の申し入れがあった。
- ・そこで、森林ボランティアの「みくまりの森サポートクラブ」との連携を打診したところ、企業の地域貢献活動とボランティア団体の課題(高齢化・担い手不足)とがマッチしたため、実施することとなった。

## 今後の展開

- ・令和5年度の連携活動の予定は、年2回の共同作業とひろしま「山の日」の共催を予定している。

## 取組の内容

- ・事業主体：みくまりの森サポートクラブ  
マツダ(株)
- ・実施場所：水分峡森林公園
- ・実施内容：遊歩道の修繕
- ・実施金額：300千円
- ・実施期間：令和5年3月11日

### 【活動の様子】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・ボランティア団体の活性化につながった。
- ・企業は地域貢献をアピールすることができた。
- ・参加者にも大変好評をいただいた。
- ・公園施設の修繕も大幅に進むことが期待される。

### 【活動の様子】



# 歴史的・文化的資源周辺の森林を整備した事例

事業名：特認事業（里山林課題解決推進事業）

市町名：世羅町

## 取組のきっかけ・経緯

- ・事業実施区域は枯木八幡神社・野原八幡神社・観音寺広場周辺の森林である。現在まで観音寺広場は地域行事を実施する場として利用されている。
- ・周辺の森林は、高齢化により荒れ続け放置されたままであり、土砂災害危険区域に指定されている箇所もあるため、森林の公益機能の維持増進を図る必要がある。
- ・そのため、津口森づくりの会が主体となって景観の保全や山地災害防止機能の指揮を図ることとなった。

## 取組の内容

- ・事業主体：津口森づくりの会
- ・実施場所：世羅町大字津口地区
- ・実施量：0.46ha
- ・実施金額：9,340千円
- ・実施期間：令和4年度

【整備前】



【整備後】



## 今後の展開

- ・今後も津口森づくりの会が中心となって、野原八幡神社・枯木八幡神社・観音寺広場それぞれの箇所に近接している地域住民が集まり、寺や神社の維持管理と併せ、清掃活動等、森林保全活動を行っていく。

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・枯木八幡神社広場周辺の森林整備を行ったことにより、景観の保全と神社へ迫っていた危険木を撤去することができた。
- ・検討部会を開き、専門家も交えて津口地区の歴史や神社を守っていくことの重要性を再認識できた。

### 【検討部会の様子】



### 【活動の様子】

